

# ふらの市移住促進協議会 平成22年度活動報告書

富良野への移住を促進する取り組みについて



平成23年5月  
ふらの市移住促進協議会

## 目 次

■平成22年度事業計画の概要	2
■組織の概要	3
■平成22年度事業実績	
○移住促進に係る周知活動の実施	
（1）首都圏等プロモーション活動の実施	6
（2）富良野生活事例集の作成・配布	9
（3）ホームページ更新・運営管理	10
（4）移住協通信の発行	10
○移住促進に係る各種事業の推進	
（1）移住体験モニターツアーの企画・実施	11
（2）ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施	12
（3）講演会の開催	13
○各種会議開催状況	
（1）ふらの市移住促進協議会総会の開催	14
（2）幹事会の開催	14
（3）移住促進作業チーム	15
■移住実績	16
■移住相談集計結果	17
■参考資料	
○新聞記事	18
○移住協通信	28

## 平成22年度事業計画の概要

### 移住促進に係る周知活動の実施

#### (1) 首都圏等プロモーション活動の実施

首都圏等で開催されるイベントに積極的に参加し、富良野市への移住促進に向けた移住相談等を実施する。

◇もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪2010

◇北海道フェア in 名古屋      ◇北海道フェア in 東京

#### (2) 富良野生活事例集の作成・配布

移住者のインタビューなど具体的な内容を掲載し、移住希望者が富良野での生活を身近に感じることでできる事例集の作成をする。

◇ふらの生活様式～FURANO LIFE STYLE～（A4 28項※表紙含む）  
5,000部作成

#### (3) ホームページ更新・運営管理

◇ホームページの更新を行う。

#### (4) 移住協通信の定期発行

協議会の取り組みを紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開

### 移住促進に係る各種活動の推進

#### (1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

富良野での生活体験ができるモニターツアーなどのイベントを企画・実施する。

また、ツアー参加者による富良野生活をブログ等を利用し、情報を発信してもらう。

#### (2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

◇市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

#### (3) 講演会の開催

移住に関する講師による、富良野市全体の移住に対する意識向上のため、富良野市民を対象にした講演会を企画・実施する。

### 各種会議開催状況

#### (1) 会議の開催

①総会の開催

②幹事会の開催

③移住促進作業チームの開催

#### (2) 関係団体との連絡調整

北海道移住促進協議会、NPO 法人「住んでみたい北海道」推進会議

## 組織の概要

- 名 称     ふらの市移住促進協議会
- 代表者     富良野市長 能 登 芳 昭
- 設 立     平成21年5月21日
- 事務局     〒076-8555 富良野市弥生町1番1号  
富良野市総務部企画振興課内  
電話 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121
- 目 的     富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促をすることにより、地域振興を図ることを目的とする。
- 協議会会員

### 構成団体

富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会  
富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区

### 会員事業所    平成22年度    26事業所

(株)アーキスト	鶴 Apartment	(有)フラワープティック エハラ
旭川信用金庫 富良野支店	てっぱん・お好み焼き まさ屋	(株)プリンスホテル 新富良野プリンスホテル
(株)亀屋齊藤商店	(株)那知組	ペンション ピノキオ
(株)軽米組	西出装飾	(株)北菱
(株)菊田建設	(株)ニュー富良野ホテル	北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールヴァルト富良野
北の宿 望峰	富良野インターネット ビジネススクール	(株)ゆあさ
(株)コダマ	(株)富良野タクシー	(株)吉田塗装店
(株)佐藤建業	富良野地方卸売市場(株)	(株)ラジオふらの
(株)扇商連 (サンエービルド工業)	富良野ホテル・ベルヒルズ	

(50音順)

## ■ふらの市移住促進協議会規約

### （名 称）

第1条 本会は、ふらの市移住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

### （目 的）

第2条 協議会は富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

### （事 業）

第3条 協議会の主な事業は、次のとおりとする。

- （1）移住促進に係るPR活動の実施
- （2）移住促進に係る各種事業の推進
- （3）その他 移住促進のために必要な取組

### （組 織）

第4条 協議会は、富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区、及び協議会の趣旨に賛同する各団体の構成員をもって組織する。

### （役員及び職務）

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- （1）会 長 1 名
- （2）副会長 1 名
- （3）理 事 4 名
- （4）監 事 1 名

2 役員は、協議会において選任する。

3 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 理事は、協議会の主要事項の審議並びに会務の運営にあたる。

7 監事は、会計を監査する。

### （会 議）

第6条 協議会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、開催する。

### （会 計）

第7条 協議会の経費は、会費、その他収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。ただし、設立年度については、施行日から翌年の3月31日までとする。

### （幹事会）

第8条 協議会の事業が円滑に運営できるように企画立案し、関係団体実務担当者相互の連携協調を図ることを目的として幹事会を置く。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、富良野市役所総務部企画振興課に置く。

(委任)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成21年5月21日から施行する。

【役員】

(任期：平成21年度～平成22年度)

職 名		構 成 団 体
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	浅 田 正 俊	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	村 山 友 希	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	黒 岩 岳 雄	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

移住促進に係る周知活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

○もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010

北海道暮らしフェア in 名古屋・北海道暮らしフェア in 東京への参加

■目的

子育て世代・団塊世代等に広がりを見せる「第二の故郷探し」の胎動を踏まえ、北海道への移住・交流を促進するため、首都圏において富良野市ならではの魅力と「お試し暮らし」をはじめとした、富良野市へ移住に関する情報等を、積極的にアピールするフェアに参加し、富良野市の生活・暮らしを身近に知ってもらい、交流・定住人口の増加を通じた地域活性化を目指す。

■主催

◇もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010

「もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪」実行委員会（北海道、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、「とくしま」ふるさと回帰推進協議会、香川県移住・交流推進協議会、えひめ移住交流推進協議会、高知県、NPO 法人住んでみたい北海道推進会議）

◇北海道暮らし・フェア in 名古屋 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

◇北海道暮らし・フェア in 東京 北海道・NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

■開催日時

◇もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010：平成 22 年 10 月 9 日（土）10:00～17:00

◇北海道暮らし・フェア in 名古屋：平成 22 年 10 月 10 日（日）10:00～17:00

◇北海道暮らし・フェア in 東京：平成 22 年 11 月 13 日（土）10:00～17:00

■会場

大阪会場

名古屋会場

東京会場

■会場案内図



■会場案内図



■会場案内図



■ 入場者数

- ◇もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010 1,200 人(富良野来場者 21 組)
- ◇北海道暮らし・フェア in 名古屋 800 人(富良野来場者 26 組)
- ◇北海道暮らし・フェア in 東京 1,200 人(富良野来場者 37 組)

■ 会場の様子

◇もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010



◇北海道暮らし・フェア in 名古屋



◇北海道暮らし広場 in 東京ビックサイト



■アンケート集計結果

Q1 あなたは富良野市をご存知でしたか？

	大阪	名古屋	東京
知っていた	92.9%	76.5%	90%
知らなかった	0%	0%	0%
無回答	7.1%	23.5%	10%

Q3 北海道に移住するとしたら、どのような点をどの程度優先しますか？

		大阪	名古屋	東京
1. 日常生活に不便が無いこと	最優先したい	28.6%	29.4%	35%
	優先的に考えたい	35.7%	29.4%	40%
	こだわらない	14.3%	23.6%	15%
	無回答	21.4%	17.6%	10%
2. 自然が豊かであること	最優先したい	50%	52.9%	30%
	優先的に考えたい	28.6%	23.6%	45%
	こだわらない	14.3%	5.9%	15%
	無回答	7.1%	17.6%	10%
3. 仕事があること	最優先したい	0%	17.6%	15%
	優先的に考えたい	14.3%	5.9%	15%
	こだわらない	71.4%	52.9%	50%
	無回答	14.3%	23.6%	20%
4. 移住者の支援制度があること	最優先したい	7.1%	25%	10%
	優先的に考えたい	78.6%	31.3%	15%
	こだわらない	0%	18.7%	55%
	無回答	14.3%	25%	20%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先したい	21.4%	29.4%	10%
	優先的に考えたい	50%	35.3%	35%
	こだわらない	7.2%	11.8%	40%
	無回答	21.4%	23.5%	15%

Q4 富良野市の移住に関する情報をホームページなどご覧になったことがあるものは？

	大阪	名古屋	東京
富良野市公式ホームページ	62.5%	42.9%	54.5%
ふらの市移住促進協議会ホームページ	12.5%	14.3%	27.3%
ふらの市移住促進協議会ブログ	25%	28.6%	0%
その他	0%	14.2%	18.2%

Q5 富良野市にお越しになったことはありますか？

	大阪	名古屋	東京
ある	71.5%	58.8%	80%
ない	21.4%	23.5%	15%
無回答	7.1%	17.6%	5%

Q6 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になりますか？

	大阪	名古屋	東京
なる	57.2%	58.9%	15%
ならない	0%	5.9%	0%
何とも言えない（わからない）	35.7%	17.6%	30%
無回答	7.1%	17.6%	20%

Q9 アンケート回答者の年齢構成

	大阪	名古屋	東京
20歳代	0%	0%	0%
30歳代	23.2%	11.8%	5.5%
40歳代	15.4%	11.8%	10.8%
50歳代	38.5%	17.6%	37.8%
60歳代以上	23.2%	58.8%	45.9%
無回答	7.7%	0%	0%

(2) 富良野移住情報誌の作成・配布

■ふらの生活様式～FURANO LIFE STYLE～（A4 28項） 5,000部



INTERVIEW  
新しい田舎を作るんだと決めました。  
笠倉 要一さん・優子さん

「富良野市に移住したい」という思いを、妻の優子さんと話し合い、最終的に決まりました。富良野市には、自然豊かな環境と、温かい人柄が魅力です。また、移住後の生活についても、事前にしっかりと調査を行いました。富良野市は、私たちに最適な場所だと感じました。移住後は、新しい生活スタイルを築いていきたいと考えています。

### (3) ホームページ企画立案・運営管理

#### ■ホームページ (<http://www.iju.furano.jp>)



ホームページトップ画面

◇アクセス件数  
 平成22年4月～平成23年3月  
 66,189 アクセス  
 月平均約 5,516 アクセス

#### ■ブログ (<http://ameblo.jp/furano-ijusokushin/>)



ブログトップ画面

◇アクセス件数  
 平成22年4月～平成23年3月  
 89,102 アクセス  
 月平均約 7,425 アクセス

### (4) 移住協通信の発行

協議会の取り組みの紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開。

- |                    |                   |                    |
|--------------------|-------------------|--------------------|
| ◇第7号 (2010.4.7)    | ◇第8号 (2010.4.20)  | ◇第9号 (2010.7.10)   |
| ◇第10号 (2010.8.11)  | ◇第11号 (2010.8.11) | ◇第12号 (2010.8.30)  |
| ◇第13号 (2010.9.8)   | ◇第14号 (2010.9.16) | ◇第15号 (2010.10.18) |
| ◇第16号 (2010.12.21) | ◇第17号 (2011.2.14) | ◇第18号 (2011.2.23)  |
| ◇第19号 (2011.3.10)  |                   |                    |



## 移住促進に係る各種事業の推進

### (1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

協議会が主催する「素のーライフ in ぶらの」を企画・実施しました。富良野市へ移住を考えている方に対し、富良野生活を体験していただくことによって、移住をより具体的に検討してもらいました。また、滞在期間中にはブログによる情報発信をしていただき、モニターツアーに参加していない方にも、移住体験の疑似体験をしてもらいました。

◇開催期間 平成23年3月17～21日（4泊5日）

◇ツアー参加者

世帯構成	住所
60代男性、60代女性、20代男性	京都府京都市
60代男性、60代女性	神奈川県横浜市
60代男性、60代女性	奈良県葛城市
30代单身男性	東京都西東京市
40代单身男性	愛知県一宮市

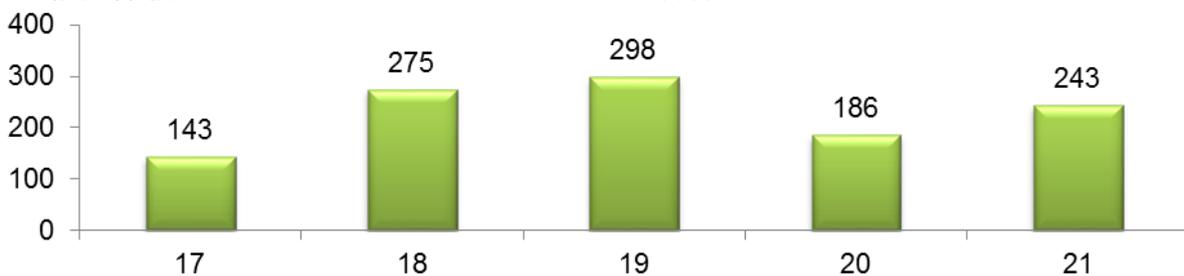
◇オリエンテーションの様子



◇市内施設見学バスツアーの様子



◇移住体験モニターツアーブログのアクセス件数



## (2) からの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

### 市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

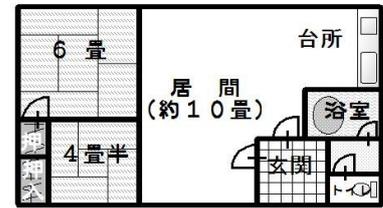
#### ◇弥生住宅



外観



内装



間取り

#### ◇東山住宅1号



外観



内装



1 F



間取り

#### ◇東山住宅2号（平成22年9月より入居募集開始）



外観



内装



間取り

#### ◇平成22年度の利用状況

弥生住宅（8組13名）		東山住宅1号（3組7名）		東山住宅2号（1組1名）	
兵庫県	50代単身女性	栃木県	70代夫婦	苫小牧市	60代単身男性
高知県	10代親子	埼玉県	70代夫婦		
東京都	60代夫婦	江別市	50代親子		
大阪府	60代夫婦				
愛知県	60代単身女性				
埼玉県	60代単身男性				
長野県	30代親子				
静岡県	60代単身男性				

■民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇(株)北菱物件「アパルC」を公表



外観



内装 (LDK)



間取り

◇平成22年度の利用状況

アパルC (3組7名)	
大阪府	50代親子
大阪府	70代夫婦
オーストラリア	その他

(3) 講演会の開催

◇開催日 2月8日(火) 14:00~16:00

◇場所 富良野文化会館2階大会議室

◇演題 「移住促進フォーラム」～移住者の受け入れと地域活性化について～

◇講師 (株)日本総合研究所公共コンサルティング部長 矢野 勝彦 氏

◇参加者 一般市民72名



(1) 会議の開催

■ ぶらの市移住促進協議会総会

開催日 平成22年8月5日(木)

場所 富良野市役所大会議室

議事 報告第1号 平成21年度事業報告について  
報告第2号 平成21年度収支決算について  
報告第3号 新規参加事業所について  
議案第1号 平成22年度事業計画(案)について  
議案第2号 平成22年度収支予算(案)について

■ 第1回幹事会

開催日 平成22年7月20日(火)

報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について  
②平成21年12月～平成22年6月までの移住相談状況について  
③移住状況について

協議事項 ①ぶらの市移住促進協議会平成22年度総会について

■ 第2回幹事会

開催日 平成22年10月18日(月)

報告事項 ①お試し暮らしの入居状況について  
②平成22年7月～9月までの移住相談状況について  
③もうひとつのふるさと探しin大阪2010及び  
北海道暮らしフェアin名古屋について

協議事項 ①平成22年度事業について  
・富良野移住情報誌について  
・移住体験モニターツアーについて  
・講演会開催について

■ 第3回幹事会

開催日 平成23年1月11日(火)

報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について  
②平成22年10月～12月までの移住相談状況  
③北海道暮らしフェアin東京について

確認事項 ①平成22年度事業について  
・富良野移住情報誌について  
・移住体験モニターツアーについて  
・講演会開催について

■移住促進作業チーム第1回会合

開催日 平成22年9月1日(水)

協議事項 ①平成22年度ふらの市移住促進協議会事業計画について

- ・富良野移住情報誌について
- ・移住体験モニターツアーについて
- ・講演会開催について

②北海道暮らしフェアについて

■移住促進作業チーム第2回会合

開催日 平成22年9月27日(月)

協議事項 ①富良野移住情報誌について

- ・インタビュー候補者の選定

②移住体験モニターツアーについて

■移住促進作業チーム第3回会合

開催日 平成22年11月18日(木)

報告事項 ①道外で開催された北海道移住フェアについて

- ・もうひとつのふるさと探しin大阪2010
- ・北海道暮らし・フェアin名古屋
- ・北海道暮らし・フェアin東京

協議事項 ①富良野移住情報誌について

②移住体験モニターツアーについて

③講演会開催について

■移住促進作業チーム第4回会合

開催日 平成23年1月25日(火)

協議事項 ①富良野移住情報誌について

②移住体験モニターツアーについて

③講演会開催について

■移住促進作業チーム第5回会合

開催日 平成23年2月16日(水)

協議事項 ①富良野移住情報誌について

②移住体験モニターツアーについて

③講演会開催について

■移住促進作業チーム第6回会合

開催日 平成23年3月8日(火)

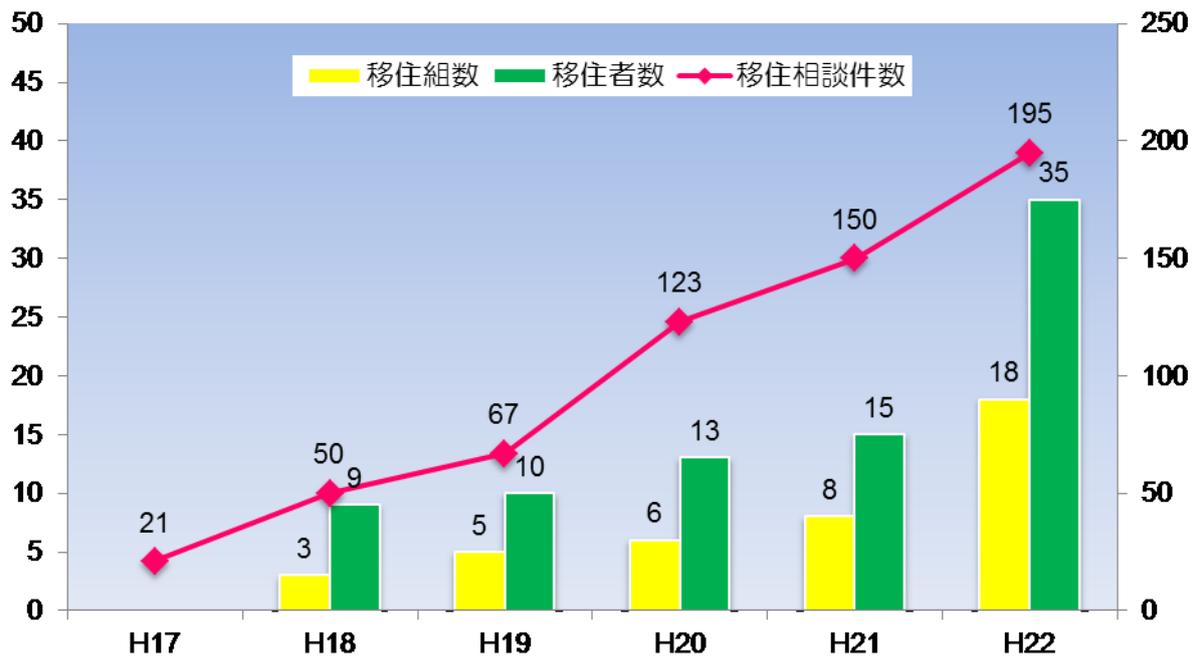
協議事項 ①富良野移住情報誌について

②移住体験モニターツアーについて

## 移住実績

### ■ 移住者数及び相談件数

	H17年度 6月から	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	合計
移住者	0件	3組9名	5組10名	6組13名	8組15名	18組35名	40組82名
移住相談件数	21件	50件	67件	123件	150件	195件	606件



■ 移住相談集計結果

移住相談集計結果

期間：2010/4/1～2011/3/31

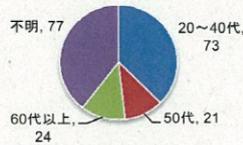
単位：人

■ 全集計

総数	195
----	-----

1. 年齢	20～40代	73	37.4%
	50代	21	10.8%
	60代以上	24	12.3%
	不明	77	39.5%

1. 年齢

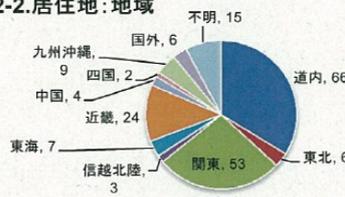


2. 居住地	大区分	道内	66	33.8%
		道外	114	58.5%
		不明	15	7.7%
	地域	道内	66	33.8%
		東北	6	3.1%
		関東	53	27.2%
		信越北陸	3	1.5%
		東海	7	3.6%
		近畿	24	12.3%
		中国	4	2.1%
		四国	2	1.0%
		九州沖縄	9	4.6%
		国外	6	3.1%
		不明	15	7.7%

2-1. 居住地：大区分

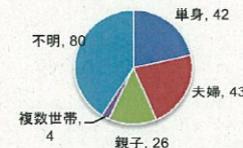


2-2. 居住地：地域



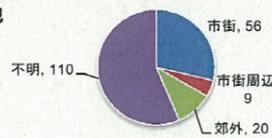
3. 構成	単身	42	21.5%
	夫婦	43	22.1%
	親子	26	13.3%
	複数世帯	4	2.1%
	不明	80	41.0%

3. 構成



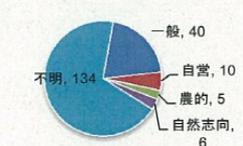
4. 希望地	市街	56	28.7%
	市街周辺	9	4.6%
	郊外	20	10.3%
	不明	110	56.4%

4. 希望地



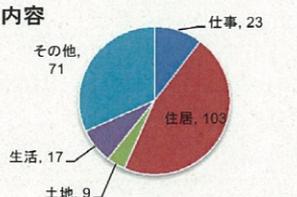
5. 希望形態	一般	40	20.5%
	自営	10	5.1%
	農的	5	2.6%
	自然志向	6	3.1%
	不明	134	68.7%

5. 希望形態



6. 相談内容	仕事	23	11.8%
	住居	103	52.8%
	土地	9	4.6%
	生活	17	8.7%
	その他	71	36.4%

6. 相談内容



※相談時期	4～6月	31	15.9%
	7～9月	58	29.7%
	10～12月	54	27.7%
	1～3月	52	26.7%

移住者数	完全移住	17組	33人
	二地域移住	1組	2人
	お試し暮らし	12組	21人

H17 H18 H19 H20 H21

総数	21	50	67	123	150
----	----	----	----	-----	-----

20～40代	12	26	31	70	51
50代	3	8	9	15	18
60代以上	2	4	9	17	31
不明	4	12	17	20	50

道内	7	14	30	53	44
道外	13	33	35	57	94
不明	1	3	2	10	12
道内	7	14	30	53	44
東北			3	2	1
関東	6	20	14	27	42
信越北陸	1	1	1	1	3
東海		2	4	4	15
近畿	3	6	5	11	24
中国		1	1	3	6
四国	1	3	1		1
九州沖縄	2		3	6	2
国外					1
不明	1	3	5	13	11

単身	2	8	13	34	39
夫婦	5	12	15	27	37
親子	3	15	9	18	16
複数世帯	1		1		
不明	10	15	26	42	58

市街	16	25	40	70	38
市街周辺		6	8	10	5
郊外	4	4	14	21	17
不明	1	15	5	22	90

一般	19	30	46	71	32
自営	2	5	12	6	4
農的		6	2	4	7
自然志向		1		12	5
不明		8	7	30	102

仕事	9	18	8	23	25
住居	15	35	40	87	85
土地	2	7	7	13	14
生活	7	10	6	20	17
その他		22	21	28	26

4～6月	1	16	9	20	39
7～9月	6	14	14	31	38
10～12月	6	10	22	24	38
1～3月	8	10	22	48	35

完全移住	3組	5組	6組	7組
	9人	10人	13人	13人
二地域移住			2組	1組
			2人	2人
お試し暮らし	-	-	-	8組
	-	-	-	10人

■情報誌（北海道生活 2010年11-12月号）



**富良野市**  
Furano City

**富良野市へのアクセス**  
空路で東京（羽田・成田空港）から旭川空港まで約105分。その後旭川駅よりJRで約60分

北海道で暮らそう  
ロケーションで選ぶ  
**Hokkaido Life**

思わず深呼吸したくなるほど素晴らしいロケーションでの生活を満喫してみませんか？ 北海道での豊かな自然に囲まれた暮らし方、そしてそれを実現できる街を紹介します。



1. 富良野といえば「ラベンダー」。夏は美しい花々が咲き誇る
2. 十勝連峰を遠くに望む富良野市。盆地特有の気候で冬は気温が下がる
3. 富良野市では「お試し暮らし住宅」を3棟用意
4. 家具・家電は完備されているので、手軽に始められる「お試し暮らし」

富良野暮らしを体感  
移住体験モニター募集中！

人気ドラマ「北の国から」の主要ロケ地でその知名度は全国区になった富良野。最近では、テレビドラマの舞台となったプリティッシュガーデン「風のガーデン」が人気を集めている。西には夕張山系、東には十勝連峰が並び、この二つの山脈に挟まれるように富良野盆地を形成。美しい自然に抱かれた「観光地」としてのイメージが強い富良野は、夏は三十度を超える暑さとなる一方で、冬は最低気温はマイナス三十度近くまで下がる寒暖差の激しい内陸特有の気候の地域でもある。そんな気候は農業に適しており、ここ富良野は北海道の食材一大生産地でもあり、そして食の流通拠点ともなっている。豊富な観光資源を持つ富良野には、夏の自然の美しさ、そして北海道特有の冬の厳しさはあるが、それらを含めたこの土地の魅力に引かれ、北海道はもとより道外の人も訪れ、移住する人も多いエリア。そのため、それを受け入れる地元の人たちの大らかな気質も魅力の一つ。豊かな自然がすぐそばにありながら、都市生活の利便性もある場所というのも富良野の魅力。図書館や郵便局などの公共施設や医療施設、スーパーやコンビニエンスストアもあり、安心・安全な暮らしを約束してくれる。

また、富良野への移住を考えている方のために「お試し暮らし住宅」があり、市内の職員住宅などにテレビや冷蔵庫などの家電、イスやテーブルなどの家具を用意。一〜三カ月の期間で富良野の四季を感じ、もっと富良野を知ってもらおうための、ちょっと暮らしを体験できる住宅となっている。問い合わせ・申込みは富良野市役所の「移住相談ワンストップ窓口」☎0167・39・2304へ。

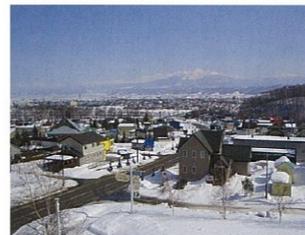
富良野市

北海道の中心「ふらの」を感じる、移住体験モニターツアー募集

富良野市では移住体験モニターを募集中。銀行や総合病院、市内の主要施設やふらのワイン工場などの見学や自炊による生活体験を行い、より富良野での生活をイメージできるツアー内容となっている。また富良野広域圏経済活性化協議会が主催する就業支援講演&面接会では、市内の観光業などの企業も参加するので、本気で富良野移住を考えている方には必見！詳細はお問い合わせを。

- |   |  |
|---|--|
| <p>■ツアー概要</p> <p>■開催期間<br/>2011年3月17日(木)～21日(月)の4泊5日</p> <p>■募集組数<br/>7組(2～3名×3組、2名×2組、1名×2組)</p> <p>■参加費用<br/>1人4,000円</p> | <p>■参加条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康な方</li> <li>2. 富良野での生活体験ブログの更新を毎日行える方(ブログはパソコンもしくは携帯電話での更新。携帯電話から更新する場合は、情報通信料がかかるためパケット通信定額制を推奨)</li> <li>3. モニターツアー終了後もアンケート調査などデータ収集に協力していただける方(ツアー終了後はアンケート調査を実施。またブログを残すので引き続き更新も可能)</li> <li>4. 富良野市まで及び富良野市内における交通手段は各自負担</li> </ol> |
|---|--|

問い合わせ ふらの市移住促進協議会 ☎0167・39・2304 ㊟http://www.iju.furano.jp/





## 冬の移住体験 ブログで発信を

### 富良野市促進協 モニター募集

【富良野】市移住促進協議会は、冬の富良野で暮らす移住体験モニターツアー（来年3月17～21日）の参加者を募集している。感想などをブログで毎日更新することが条件。

「素のライイフィロソフィ」と名付け、自炊可能なペンションに泊まって、病院や学校など生活に必要な施設の見学や地元の人との懇親会を行う。定員は4人以内の家族3組、ペア2組、単身2組。ブログは自身のパソコンや携帯電話から更新すること。宿泊は無料で、参加費は1人4千円。

初めて開催した昨年は6組13人が参加し、1家族4人が移住した。同協議会は、ブログを通じ、読者に移住を疑似体験してもらいたい」と期待している。希望者は来年1月21日までに同協議会のホームページから申し込む。問い合わせは事務局 ☎0167・39・2304へ。

2010年（平成22年）12月1日（水）  
北海道新聞

## 8日、移住促進 フォーラム開く

ふらの市移住促進協議会主催の移住促進フォーラム「移住者の受け入れと地域活性化について」が今月8日、文化会館で開かれる。講師は日本総合研究所総合研究部門の矢部勝彦さん。三井住友銀行、厚生労働省出向などを経て現職。生活サービス産業創出・事業化支援や地域再生コンサルティング・事業化支援を中心とした活動をしており、専門分野は生活、福祉（シニアビジネス）、健康、観光、集客、交通、住宅など。同協議会では「富良野市への移住希望者は年々増加傾向にありま

す。富良野の魅力がPRしたり、実際の生活体験を通して移住への

課題をテーマに講演会を通して考えたいと思います」と市民多数の参加を呼びかけている。

午後2時に開会。入場は無料。対象は市民。問い合わせは事務局の市役所企画振興課 ☎39・2304番へ。

2011年（平成23年）2月1日（火）  
日刊富良野

## 8日に移住 フォーラム

ふらの市促進協

ふらの市移住促進協議会(会長・能登芳昭富良野市長)は8日午後2時から富良野文化会館で移住促進フォーラムを開く。

同協議会は、富良野市、富良野商工会議所、地元企業らが構成メンバーとなり、連携・協力して富良野市への移住を促進する目的で2009年5月に発足した。

フォーラムでは、講師

に日本総合研究所総合研究部門の矢野勝彦主任研究員を招き、移住者の受け入れと地域活性化についての講義を通じて、移住に対する行政と企業の関わりなどを考える。

2011年(平成23年)2月2日(水)  
北海道建設新聞



移住受け入れ課題は

【富良野】市移住促進協議会は8日午後2時から、移住受け入れの意義と課題を考えるフォーラムを富良野文

化会館で開く。日本総合研究所総合研究部門の矢野勝彦主任研究員が「移住者の受け入れと地域活性化について」と題して講演する。無料。問い合わせは事務局の市企画振興課 ☎39・2304へ。

2011年(平成23年)2月5日(土)  
北海道新聞 ふらの欄

移住で地域再生のチャンス  
を」。ふらの市移住促進協  
会はきょう8日午後2時か  
ら、富良野文化会館で「移住  
促進フォーラム―移住者の受  
け入れと地域活性化につい  
て―」を開催する。日本総合  
研究所の矢野勝彦主任研究員  
が講演し、富良野管内でまだ  
関心が低い移住について知識  
を深めてもらう。入場無料。  
同協議会は2009年に発  
足。市と商工会議所、地元企  
業で構成し、移住者へのサポ  
ート業務やPR活動を展開し  
ている。特に、短期間、市の

職員住宅や民間住宅を貸し出  
す「お試し暮らし住宅」は、  
09年度に8組10人が利用。10  
年度は現時点で11組20人に達  
しており、富良野に対する移  
住への関心の高さがうかがえ  
る。

もたらず地域活性化や経済効果  
を紹介してもらうことにした。  
矢野主任研究員は地域再生  
のコンサルティングや事業化  
支援が専門。愛知県の交流居  
住研究会や福島県の過疎・中  
山間地域でのビジネスモデル  
構築に関する調査研究などに  
参画し、06年度には総務省の  
「人口減少自治体の活性化に  
関する研究会」の委員を務め

た。全国で関わった事例を基に、  
移住を受け入れることのメリ  
ットとデメリット、移住がど  
のように地域活性化に結び付  
くかを話し、富良野らしい移  
住受け入れとは何かを考える。  
協議会委員としてフォーラ  
ムの運営に当たる北菱（本社  
・富良野）の上田賢一社長は  
「観光をきっかけに、二地域  
居住、移住につながる。そう  
なれば、商工業や建設業など  
地域全般が活性化する。多分  
野の産業の方に興味を持って  
もらいたい」と語っている。  
(旭川)

市協  
の進  
ら促  
住移  
きょう  
フォーラム  
日本総研の矢野氏が講演

2011年(平成23年)2月8日(火)  
北海道建設新聞



# 移住促進事業に期待

## フォーラムに市民72人参加

移住促進で地域の活性化につなげるのを目的に2年前発足した、ふらの市移住促進協議会（能登芳昭会長）主催の移住促進フォーラム「移住者の受け入れと地域活性化」が8日午後、文化会館で開かれた。同協議会の構成団体や一般市民など72

人が参加し、約2時間にわたる講師の情報提供に耳を傾け、今後の移住促進に向けて強い関心と期待を寄せた。はじめに、事務局側がこの2年間に取り組んできた活動の報告を行った。この中で昨年10月と11月に大阪、名古屋、東京の首都圏で

2011年(平成23年)2月15日(火)  
日刊富良野

行われたプロモーションの富良野ブースには計84組の相談があり、移住相談件数は平成21年度で150件にものぼり、平成21年度から実施している「お試し暮らし住宅」では、22年度は12組21人が利用していると報告。また完全移住者は平成18年度から今年度までに38組75人。このほかに二地域居住が2組4人、お試し暮らし住宅利用後は4組4人など明らかにした。

この後、日本総合研究所公共コンサルティンク部部長の矢野勝彦氏が、「地域が直面する課題—人口減少地域では何が問題となるのか」、「移住・交流のライフスタイル」など21項目に分けて、これまでに全国各県で実施してきた事例などを紹介しながら専門的な立場から講演を行った。

この中で矢野氏は、移住・交流が地域にもたらす効果として、「2007年〜2009年の3年間で計3000世帯の高齢者無職



移住促進フォーラムが開かれる

世帯が60歳で移住した場合は、生涯の経済波及効果は約5700億円が見込まれる」と述べた。

また移住・交流事業の成功のポイントとして、「スタート時は『官民連携』による事業推進が必須。公共の役割としてマーケティング、都市部向けプロモーション、受け入れ体制の整備を挙げ、民間の役割では地元企業等による民間コンソーシアム（協会、連合など）の立ち上げと事業モデルの構築実践」と述べた。

さらに移住・交流市場攻略のポイントとして①ハードルとリスクを下げて、まず市場の頭在化を図る②企業間の戦略的提携③地域コミュニティとの交流を重視する—など5つを挙げた。

終了後に質疑応答が行われたが、参加者から「移住を受け入れる詳しい内容の情報提供がほしい」などとの要望があった。



# 移住者の目的把握を

## 富良野 促進協がフォーラム



移住者受け入れの促進について講演する矢野勝彦さん

【富良野】市移住促進協議会は8日、移住者受け入れ促進を考えるフォーラムを富良野文化会館で開いた。協議会に加入している企業などから約70人が参加し、地域活性化の手がかりを探った。

日本総合研究所公共コンサルティング部の

矢野勝彦部長が講師を務めた。矢野さんは、移住者を受け入れ人口が増加することで市場が拡大、インフラの改善などで結果的に地域住民の満足度向上につながる」と説明。自治体と民間企業の連携が不可欠とした。

また、移住希望者は「仕事やりがい探求派」「生活革新チャレンジャー」「悠々自適暮らし派」の3タイプに分けられると指摘。「希望者の目的を把握し、適切な情報提供を行うことが受け入れにつながる」と、対話の重要性を強調した。

（安房翼）

2011年(平成23年)2月16日(水)  
北海道新聞

## 住まいの情報バンクの利用を

富良野市は、空き家の有効活用を推進するため「住まいの情報バンク」を開設し、市民から幅広く情報源の提供を求めている。

同バンクは、富良野に移住を希望している人や市内での転居を考えている人に、賃貸住宅や販売住宅の情報を紹介する制度。登録された物件は富良野市のホームページに掲載してその情報を広く紹介する。

市では「アパートや一戸建て住宅など、賃貸又は販売可能な物件をお持ちの方はぜひこの情報バンクを活用して下さい」とPRしている。申し込みと問い合わせは総務部企画振興課（☎39・2304番）へ。

2011年(平成23年)3月1日(火)  
日刊富良野

## 移住体験モニターツアー

# 素の～ライフ in ぶらの

ぶらの市移住促進協議会(能登芳昭会長)主催の移住体験モニターツアー「素の～ライフ in ぶらの」が17日から始まった。同ツアーには東京、京都、神奈川、奈良、愛知の1都1府3県の30代から60代の5組9人が参加している。

## 本州から5組9人が参加

4泊5日の日程で富良野に滞在

同ツアーは初めての富良野ホテルで実施。参加しているのは京都市の伊野哲男さん、家族3人、横浜市の堀端肇さん夫婦、奈良県の古岡幸さん夫婦、東京都の藤田浩司さん、愛知県の畑村靖志さん。いずれも北海道や富良野地方を何度も観光で訪れており、富良野での長期滞在や移住を考えているという。同日は午後4時からオリエンテーションが

## 長期滞在や移住に向け



17日、市内のホテルで開かれたオリエンテーションで富良野への思いを語る参加者

これに対し、60歳の伊野さんは「20年以上前から北海道を訪れていた。富良野のスキー場には3回も来ている。雪質も良く、また夏は暑くなく、食べ物もおいしい。富良野は北海道の中で一番良い」と語った。また「10年前、富良野で農業ヘルパーをしていた。住まいと仕事があるかなど問題はありますが、東京の生活から離れて富良野で新たな可能性を見つけたい」と話した。また40歳の畑村さんは「海外移住を考えたこともあったが、家族で富良野へ移住したい」と決意を語った。

この後、同ホテルで懇親会が開かれ交流。18日は市役所に集合して、ワイン工場、演劇工場、チーズ工房などの施設見学を行い、チーズ工房ではバターの手作り体験を楽しんだ。参加者たちは19、20日の2日間は自由行動を取り、自らの足で市内を見て回る。21日朝に解散する。

2011年(平成23年)3月19日(土)  
日刊富良野



# 富良野移住、「雇用」が課題？

## 5組9人参加体験ツアー終了

【富良野】市移住促進協議会は17日から21日まで、冬の富良野で暮らす移住体験モニターツアーを実施し、京都府や奈良、神奈川県などから5組9人が訪れた。

(尾張めぐみ)

今年で2年目の取り組み。参加者は家族連

れや夫婦、単身で、年代は30、40、60代。初日はオリエンテーションで、富良野への移住を考えた理由について

「自然がたたくさんあつて、自然可能な市内のベ

ル。就職先を見つけた。一部は19日に市内で開かれた観光業者らによる就職面接会にも参加した。

5社ほど話を聞いた。富良野の自然は気に入っているが、ほかの地域についても検討したい」と話していた。

第7号 平成22(2010)年4月7日(水)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@iju.furano.ne.jp



## 移住体験モニターツアー終わりました

富良野広域圏経済活性化協議会が主催する移住体験モニターツアーが3月14日に終了しました。3月8日のオリエンテーションや最終日には、協議会会員の方も多く参加し、ツアー参加者と意見交換や交流を行いました。ツアー参加者からは、それぞれ報告書をいただいています。報告書の一部をご紹介します。

## 移住体験モニターツアーに参加して

富良野生活の良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道をひねってすぐにおいしい水が出ることは、東京では体験できない。</li> <li>スキー場などアウトドアがすぐにできる環境にある。</li> <li>富良野には富良野を大好きな人がたくさん住んでいて、たくさんの方が富良野をよくしようと何らかの形で努力している。</li> </ul>
大変だった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふらっと入れる定食屋さんが見つげにくい。</li> <li>車以外の交通手段が少ない。</li> <li>スーパーなどの物価が高く感じた。</li> <li>冬の雪道運転が心配。</li> </ul>
モニターツアー後、富良野に移住したい気持ちに変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森の側に住みたいな」から「森の側に住みながら、富良野の街のために何かしたい」に変わった。</li> <li>私の取り組んできたことや、今までの経験を総括し、立つべき舞台は富良野だと直感した。</li> <li>移住してみようという気になった。なんとなくできるかな、やってみようという気にさせられた1週間だった。</li> <li>富良野のまちがやや大きすぎるので、富良野以外の場所も探してみようと思っています。</li> <li>定年を迎える人が、便利な都市部のマンションに移り住んでいる中、真逆な事を考えている私はどうなんだろうかと思っている。</li> <li>移住に対する気持ちは変わらないが、収入を得るためには自分で事業を興さないダメかな?と思いました。</li> </ul>

## 第4回作業チーム会合を行いました

平成22年3月24日(水)に第4回作業チーム会合を行いました。

会合の中では、モニターツアーの総括として、富良野広域圏経済活性化協議会の木下さんにオブザーバーとして参加していただき、参加者からの報告書やツアー期間中の事について報告をいただきました。

また、平成22年度の活動について、講演会やツアーなどのイベント事業と事例集やHPなどのPR事業と、担当を決め計画の策定を進めていきます。

次回は平成22年4月20日を予定しています。



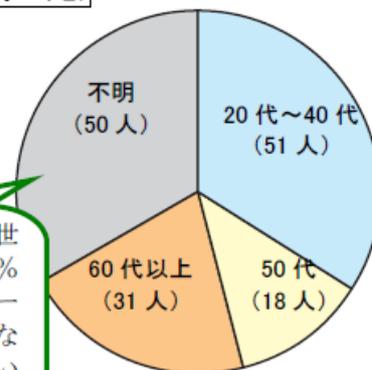
# 移住協通信

## 平成21年度移住相談集計結果

平成21年度(2009/4/1~2010/3/31)の移住相談集計結果が出ました。今年度は移住相談件数が150件あり、完全移住者が7組13名、二地域居住者が1組2名の方が富良野に移住されました。

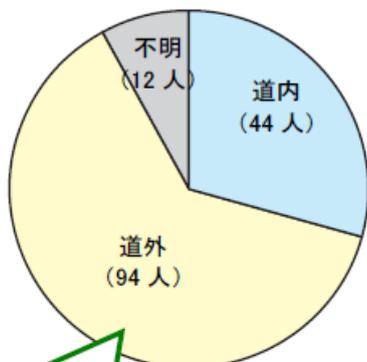
また、お試し暮らし住宅については、8組10名の方が利用されており、2組2名の方が完全移住しています。

### 1. 年齢



「20代~40代」の若い世代からの問合せが約34%と多い。また、電話やメールなどの問合せも多くなり、年齢を確認できない「不明」も増えている。

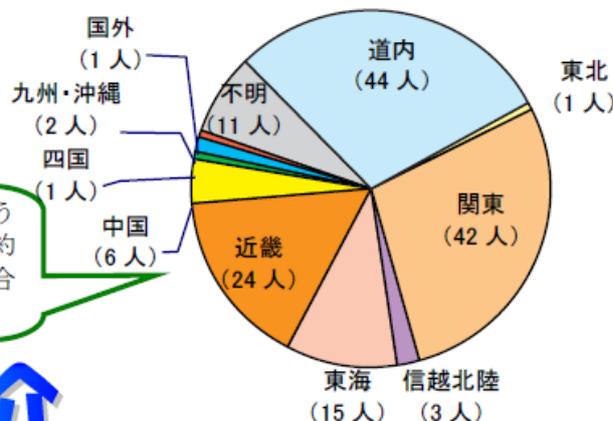
### 2-1. 居住地(大区分)



道外からの問合せが60%を超えている。

道外からの問合せのうち、約50%が関東、約25%が近畿からの問合せとなっている。

### 2-2. 居住地(地域)



## 新規加入会員紹介

平成22年度より新たに4事業所が加入しましたのでご紹介します。

事業所名	所属団体	住所
てっぱん・お好み焼き まさ屋	富良野商工会議所 ふらの観光協会	日の出町11番15号
ペンション ピノキオ	富良野商工会議所 ふらの観光協会	下御料
北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールパルト富良野	ふらの観光協会	北の峰町14番46号
ヒーリングポイント 宙に感謝	富良野商工会議所	朝日町2番2号 ふらっと1F



# 移住協通信

## 平成21年度お試し暮らし住宅利用実績

### 弥生住宅

居住地	年代	利用者数	期間等	延べ日数
愛知県名古屋市	60代	1	H21.6.1 ~ H21.8.31 ( 92 日間)	92
大阪府八尾市	80代	2	H21.9.1 ~ H21.9.30 ( 30 日間)	60
大阪府豊中市	60代	1	H21.10.2 ~ H21.11.1 ( 31 日間)	31
広島県安芸高田市	30代	1	H21.12.1 ~ H22.2.28 ( 90 日間)	90
合計		5		243

### 東山住宅

居住地	年代	利用者数	期間等	延べ日数
東京都町田市	70代	2	H21.7.1 ~ H21.9.10 ( 72 日間)	144
山口県防府市	30代	1	H21.10.5 ~ H21.11.4 ( 31 日間)	31
神奈川県横浜市	30代	1	H21.12.1 ~ H22.2.28 ( 90 日間)	90
兵庫県神戸市	60代	1	H22.3.1 ~ H22.3.31 ( 31 日間)	31
合計		5		224

## 弥生日記・東山日記

弥生住宅、東山住宅を利用した方には、ブログや日記を書いていただくことによる情報発信もお願いしています。それぞれ「弥生日記」「東山日記」として、インターネット上に公開していますが、インターネット環境がない方のために、冊子にしたものをご用意しました。お試し暮らし住宅に入りながら、どのように生活していたのかがわかります。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。



第10号 平成22(2010)年8月11日(水)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@ju.furano.ne.jp



## 平成22年度の総会を開催しました。

去る、平成22年8月5日(木)13時30分から富良野市役所大会議室において、ふらの市移住促進協議会平成22年度総会が開催されました。

当日は、能登会長(富良野市長)より、平成21年度の富良野市における移住の取組状況及び、今後課題である、『住宅の供給』など、住んでもらう状況づくりが必要という旨の挨拶がありました。

続いて、平成21年度事業・収支決算及び平成22年度事業計画・収支予算(案)が審議され承認をいただきました。

その他、総会の中では、「移住を体験したいという方は増えてきている。その方々への対応できる住宅整備が必要」「住んでもらうためには雇用先がないと若い人たちは、移住できない」などの意見もありました。

また、昨年の総会以降に新規加入をした事業所より一言紹介をいただき、無事閉会いたしました。



## 負担金のご請求をいたしますのでよろしくお願いします。

総会の終了にともない、ふらの市移住促進協議会の平成22年度負担金の請求書、及び総会欠席会員のみなさまには総会資料をご送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

### 移住促進作業チームを募集します

昨年12月に募集をしました、「移住促進作業チーム」について、引き続き募集します。

「移住促進作業チーム」とは、富良野市への移住促進に向けて、より実効性の高い事業を行うために、各事業所の有志が集まり、企画立案から実践するまでの一連の取組みを行うことを目的に設置されました。

各事業所の中堅若手など、移住促進に向けて機動力があって、積極的に行動することが可能なメンバーとして構成し、かつ、定期的な会議を開催する予定ですので、当作業チームに参加することが可能な方は、平成22年8月20日(金)までに事務局にご連絡ください。

第1回移住促進作業チームの会合は、平成22年8月27日(金)18時を予定しています。

第11号 平成22(2010)年8月11日(水)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121

E-mail: info@iju.furano.ne.jp



## 平成22年度北海道暮らしフェア

平成22年度総会において、承認された首都圏・関西圏へのプロモーション活動について下記の通り案内がきました。富良野市では、各フェアに職員1名を派遣し、相談ブースを設けて、各フェアに参加します。

会員のみなさまにおいて、市職員とともに相談ブースにて「富良野市をPRしたい」との希望がございましたら、事務局（富良野市企画振興課：加門）までご連絡願います。

※ふらの市移住促進協議会より、旅費の助成制度があります。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

### ○「もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪」

日 時：平成22年10月9日（土） 10：00～17：00

場 所：梅田スカイビル アウラホール（大阪府大阪市北区大淀中1丁目1-88）

※昨年は、フェアに1,700人が来場しています。

（富良野ブースには、38人が来場）

### ○「北海道暮らし・フェア」in 名古屋(仮称)

日 時：平成22年10月10日（日） 10：00～17：00

場 所：名古屋市中小企業振興会館 第2ファッション展示場

（愛知県名古屋市千種区吹上2丁目6番3号）

### ○「北海道暮らし・フェア」in 東京(仮称)

日 時：平成22年11月13日（土） 10：00～17：00

場 所：東京ファッションタウンビル（東京都江東区有明3丁目4番10号）

※昨年は、フェアに1,500人が来場しています。

（富良野ブースには、30人が来場）



第12号 平成22(2010)年8月30日(月)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121

E-mail: info@ju.furano.ne.jp



## お試し暮らし住宅が増えました!

富良野市お試し暮らし住宅に「東山住宅2号」が仲間入り致しました。

既存の「東山住宅」を「東山住宅1号」へと名称を改め、その向かいに建つ旧教員住宅を利用したお試し暮らし住宅です。

今週より市のホームページや移住ブログなどで利用者の募集を開始し、9月から入居が可能な状態にしております。



東山住宅2号	
所在地	富良野市字東山5106番地(旧教員住宅)
築年月日	昭和52年10月 ブロック造
間取り	3DK 54.65㎡
使用料金	1ヵ月 27,000円(住宅借用料のみ)
主な備品	テレビ 冷蔵庫 洗濯機 掃除機 ストープ 炊飯器 テーブル イス 電子レンジ

## 第1回移住促進作業チーム会合 開催日程を変更いたしました。

前号の移住協通信(第11号)にてお知らせ致しました移住促進作業チーム第1回会合の日程が変更になりました。

変更前:平成22年8月27日(金)

変更後:平成22年9月1日(水)18時

加えまして、引き続き 移住促進作業チームのメンバーを募集しております。作業チームに加入することが可能な方は事務局までご連絡下さい。

第13号 平成22(2010)年9月8日(水)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121

E-mail: info@iju.furano.ne.jp



## 第1回移住促進作業チーム

9月1日(水)に第1回移住促進作業チームを行いました。

会議の中では、総会で確認された平成22年度の事業計画について、話し合いを行いました。その中では、「移住情報誌」に掲載する移住者のインタビュー候補者の募集を行うことや、「移住体験モニターツアー」の開催時期及び内容、「講演会」の講演内容について話し合われました。

次回は、9月28日(火)に開催しますので、引き続き作業チームに加入していただける方は、事務局までご連絡ください。



### インタビュー候補者を募集します

移住情報誌に掲載する、移住者のインタビュー候補者を募集します。

協議会会員の皆様のお近くに、移住をされた方でインタビューに答えていただける方が居ましたら事務局まで連絡をください。

例) 移住して〇〇会社に勤めている。退職後移住。外国から移住。二地域居住者。など

候補者の中から選定を行い、移住情報に掲載するインタビューを行います。

候補者の受付期間は9月24日までです。

### モニターツアーのイベントを募集します

移住体験モニターツアーの開催期間中に行うイベントを募集します。開催日は3月を予定していますので、その期間内に協議会会員が主催するイベントがありましたら事務局までご連絡ください。

例) 住宅の展示会。除雪機・暖房設備の展示会。冬のイベント。雪かき体験 など

第14号 平成22(2010)年9月21日(火)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@iju.furano.ne.jp



# 協議会ホームページリニューアル!

ふらの市移住促進協議会のホームページが新しくなりました。(http://www.iju.furano.jp/index.html)



以前からの項目に加え、

ブログ「ふらのに住んだらイイジャナイカ♪」へのリンクや、生活情報コーナー「ふらので暮らす」などの新しいページを増やし、明るい色合いのホームページに変更しました。

当ホームページのアクセス数は毎月5~6,000件。今後も、より多くの移住希望者へ向けて「ふらの」の生活・移住に関する情報を発信してゆきます。

## 第2回 移住促進作業チーム会合

前回の移住協通信(第13号)にて9月28日(火)とお知らせいたしましたが、9月27日(月)18時に変更させていただきます。

また、当作業チームに加入していただける方は、随時受付しておりますので事務局までご連絡下さい。

北海道暮らしフェア in  
東京/名古屋

案内パンフレット  
を同封しました

第15号 平成22(2010)年10月18日(月)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@ju.furano.ne.jp



## もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2010 北海道暮らし・フェアin名古屋

10月9日(土) 大阪市において『もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪 2010』、10月10日(日) 名古屋市において『北海道暮らし・フェア in 名古屋』が開催されました。

### もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2010

当日は、大雨にもかかわらず、約1,200名(昨年は約1,700名)が来場されました。北海道から31市町村と9団体が出展しました。

富良野市ブースには、21組の方が相談に来られました。その中でも「お試し暮らし住宅」の問い合わせがもっとも多く、来年度の募集案内を希望される方が7組いらっしゃいました。



### 北海道暮らし・フェアin名古屋

名古屋で行われたフェアは当日の天候にも恵まれ、800名が来場されました。北海道からは、21市町村が出展しました。

富良野市ブースには、26組の方が相談にこられました。名古屋会場においても「お試し暮らし住宅」の問い合わせが多く14組の方が来年度の募集案内を希望されました。



両フェアにおいて、「お試し暮らし住宅」の問い合わせが多く、北海道の各市町村においての取り組みが浸透していることを実感しました。また、11月13日(土)には東京において「北海道暮らし・フェア in 東京」が開催されます。協議会会員の方で参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。

第16号 平成22(2010)年12月21日(火)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail:info@iju.furano.ne.jp



## 北海道暮らし・フェア in 東京

平成22年11月13日(土)に東京都において、『北海道暮らし・フェア in 東京』が開催されました。

当日は、1,200名の来場があり、富良野市のブースには、37名が訪れました。相談内容は、定年者が多かったため、仕事よりは日常生活の相談が多かったのですが、日常生活の利便性と自然環境を求めるといふ、相反する内容の相談も多かったです。また、ホームページの認知度も高く、ブログ等での情報発信の効果がみえました。

なお、今フェアには、移住促進協議会員である「鶴アパルトメント」の永田氏が同行し、移住相談の対応をしています。



## 移住体験モニターツアーが始まります

現在、平成23年3月17日(木)～21日(月)の期間に、富良野での生活を体験していただく移住体験モニターツアー「素のライフ in ふらの」に参加される方を募集しています。

募集要項などの詳細は、ふらの市移住促進協議会のホームページ(<http://www.iju.furano.jp/f-tour.html>)をご覧ください。

また、ツアー期間中に協議会会員によるイベントも募集しています。例えば、住宅の展示会や投雪機の試運転会など、富良野での冬の暮らしに関係するイベントを行っていただける会員の企業は事務局までご連絡ください。

富良野移住体験モニターツアー  
素のライフ in ふらの  
富良野に居住や二地城居住を考えている方々募集です。  
その生活体験を通じて富良野の春を感じてください。

◎開催期間◎ 平成23年3月17日(木)～21日(月) 4日5日  
◎参加人数◎ 7名(2～4名×3組、2名×2組、1名×2組)  
◎参加料◎ 1人 4,900円  
◎募集対象◎ 富良野市への移住及び再移住の意向がある方(※は自身で応募です)。  
ふらの移住促進協議会  
〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
※ブログの掲載権の権利がありますので、詳しくはお問い合わせください。

第17号 平成23(2011)年2月4日(金)

# 移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@ju.furano.ne.jp



## 移住体験モニターツアーのプログラム募集します

平成23年3月17日(木)～21日(月)の期間に、富良野での生活を体験していただく移住体験モニターツアー「素の一ライフ in ふらの」を開催します。

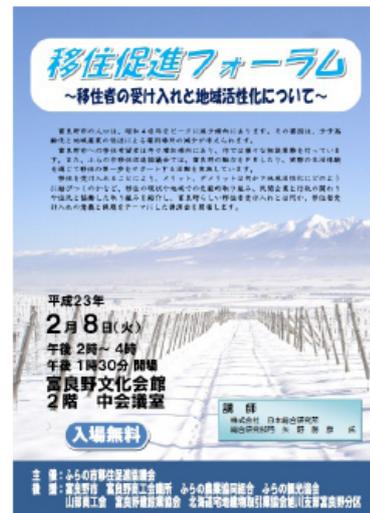
ツアー期間中に協議会会員によるイベントも募集しています。例えば、住宅の展示会や投雪機の試運転会など、富良野での冬の暮らしに関係するイベントを行っていただける会員の企業は事務局までご連絡ください。

## 移住促進フォーラム ～移住者の受け入れと地域活性化についで～

富良野市の人口は、昭和40年をピークに減少傾向にあります。その要因は、高度経済成長による都市への集中から、近年では少子高齢化と地域産業の低迷による雇用場所の減少が考えられます。

富良野市への移住希望者は年々増加傾向にあり、市では様々な相談業務を行っています。また、ふらの市移住促進協議会では、富良野の魅力をPRしたり、実際の生活体験を通じて移住の第一歩をサポートする活動を実施しています。

移住を受け入れることにより、メリット、デメリットは何か？地域活性化にどのように結びつくのかなど、移住の現状や地域での先駆的取り組み、民間企業と行政の関わりや住民と協働した取り組みを紹介し、富良野らしい移住者受け入れとは何か、移住者受け入れの意義と課題をテーマにした講演会を開催します。



**平成23年2月8日(火)**  
午後 2時～ 4時 午後 1時30分 開場  
富良野文化会館 2階 中会議室

## 新規加入会員紹介

平成23年1月25日より新たに  
加入しましたのでご紹介します。

事業所名	所属団体	住所
株式会社ラジオふらの	富良野商工会議所	本町7番10号



## 移住促進フォーラム ～移住者の受け入れと地域活性化について～

平成23年2月8日(火)に「移住促進フォーラム～移住者の受け入れと地域活性化について～」と題しまして、富良野文化会館で講演会を開催しました。

当日は、協議会会員や企業の方、連合町内会長、市民など72名の方の参加をいただき、移住促進事業に対する関心の高いことがわかりました。

フォーラムでは、講演の前段に、過去2年間の協議会の取り組み状況で、今年行われた移住フェアの状況や、移住相談状況、実際に移住した方の件数などを報告しました。

その後、日本総合研究所公共コンサルティング部長矢野勝彦氏による講演を行いました。地域が置かれている状況やこれからの課題、移住が地域にどのような効果を示すのか、また全国各地で取り組んでいる事例を紹介していただきながら講演を行っていただきました。



その中では、移住者の新たなスタイルとして、「仕事やりがい探求派」「生活革新チャレンジ派」「悠々自適暮らし満喫派」を提案され、受け入れ側の視点から、移住してくる側の視点に代えていくことが重要になることや、移住を実践した方へのアンケートから、移住する前の固定観念と移住した後のギャップなど紹介していただき、地方生活に対する固定概念を払しょくしていくことが必要であり、今後は移住者のスタイルに合わせた対応が必要であると話されていました。

以上のような講演をいただき、参加者より質疑応答をいただきました。意見として実際に移住を経験した方から「ホームページなどは移住者が欲しい情報があまりない。もっと生の情報が欲しいと感じた。」など情報を発信している協議会として、そのような意見をどう生かしていくかが今後の課題になりました。



第19号 平成23(2011)年3月10日(木)

# 移住協通信

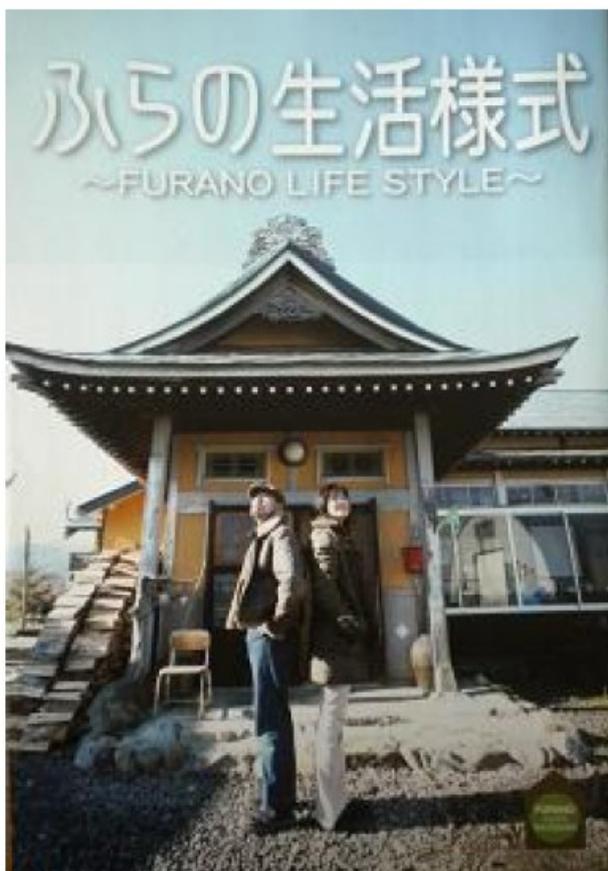
ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555  
北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内  
TEL:0167-39-2304 FAX:0167-23-2121  
E-mail: info@iju.furano.ne.jp



## 移住情報誌ができました

移住情報誌「ふらの生活様式～FURANO LIFE STYLE～」が出来上がりました。富良野に移住された方8名に取材を行い、移住をする前と後での感想や変化などを掲載しています。



その他にも脚本家 倉本聰さんよりいただいた「移住のコツ」と題したメッセージや、富良野の冬の対策方法、生活に必要な機関の連絡先を掲載した移住相談便利帳など、富良野に移住を考えている方・富良野に移住されて間もない方など幅広く読んでいただける内容となっております。

お知り合いの方で富良野に移住をご検討中の方などいらっしゃいましたらぜひお渡し下さい。また、お手元の情報誌が不足致しましたら事務局までご連絡下さい。

## ブログの更新が始まりました。

3月17日から21日までの4泊5日で開催予定のふらの移住体験モニターツアー「素のライフ in ふらの」のブログの更新が始まりました。

参加者の方にはツアー開始の数週間前よりブログの更新をお願いしており、皆さん自己紹介やツアーに向けての意気込みなどを綴っていただいております。

ツアー開催中は毎日の更新をお願いしておりますので、どうぞご覧下さい。  
ブログ「素のライフ in ふらの」 <http://ameblo.jp/furanolife/>



## ふらの市移住促進協議会 事務局

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121